

# シルバー とちのは

第42号

令和4年1月15日



＜写真提供：<sup>みぶまち</sup>壬生町シルバー人材センター＞

ありがとうございます。  
今年も、皆さんが元気に活躍でき、良い年となりますようお祈りします。

今年度のシルバー人材センター事業は、具全体で見ますと、受注量は新型コロナウイルスの影響を大きく受けた昨年度と同程度の水準で推移し、会員数は昨年度を下回って推移するなど厳しい状況が続いています。  
しかし、このような時期だからこそ、適度な就労により、健康になって、仲間と交流ができて、地域の皆さんにも喜んでもらえ、生きがいを感じられる、そうしたシルバー人材センターの存在意義が問われます。今一度シルバー人材センターの出発点に立ち返り、活動していただけたらありがたいと思います。

今年度のシルバー人材センター事業は、具全体で見ますと、受注量は新型コロナウイルスの影響を大きく受けた昨年度と同程度の水準で推移し、会員数は昨年度を下回って推移するなど厳しい状況が続いています。

昨年7月から8月にかけて、デルタ株による第5波の感染拡大に見舞われ、本県においても緊急事態宣言が発出されました。その後、新規感染者数は信じられないくらい減少しましたが、現在、新たな変異株であるオミクロン株による感染拡大が懸念されており、安心できない状況が続いています。

新型コロナウイルスが我が国で確認されてから、間もなく2年となります。



理事長

富田 哲夫

新年のあいさつ

# センター紹介 **公益社団法人 高根沢町シルバー人材センター**



〈大嘗祭記念モニュメント〉

「たんたん田んぼの高根沢」と、高根沢音頭に歌われる高根沢町は、県都宇都宮市に隣接した水田地帯が広がる町です。

令和元年には、天皇陛下の皇位継承に伴う「大嘗祭」において、高根沢町が悠紀（ゆき）地方の斎田に選ばれ、収穫されたお米「とちぎの星」が供納されました。

また、皇室の台所と称される「宮内庁御料牧場」があり、このことに象徴されるように、お米をはじめ、麦、大豆、イチゴ、ぶどう、梨等々、多くの農産物が生産されています。

町の西側には、建築家の隈研吾氏が手掛けた「JR 宝積寺駅舎」「ちよっ蔵広場」があり、町の象徴的な建物として人気になっています。近くには、四季の花々が楽しめる「鬼怒グリーンパーク」もあります。



〈元気あっぷむら、グランピング施設〉

東側には、グランピング施設を有する「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」があり栃木県の穴場的観光スポットになっています。

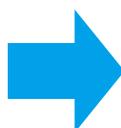
当センターの受託事業は、地域性から屋外作業が大部分を占めており、派遣事業においては、農業に係る就業が主になっています。

現在、従来からの就業に加えて、高齢世帯や、支援を必要としている世帯へのサポート、屋内の軽作業等、多様な就業機会の確保と会員のマッチングに努め、就業の拡大を目指しています。

地域からの要望に応えるべく、新規会員の入会促進と事業の普及啓発に、会員、役職員一同、日々奮闘しています。



〈作業前〉



〈作業後〉

# センター紹介

公益社団法人  
茂木町シルバー人材センター

## 会員の力を結集して、町の魅カアップのお手伝い

豊かな自然があふれる茂木町は、栃木県南東部の人口11,600人の小さな町です。城下町の面影を残す市街地には、図書館やギャラリーを備えた「ふみの森もてぎ」、町の玄関口にはSL列車の見える「道の駅もてぎ」、近年は幻想的な焼森山のミツマタや城山の彼岸花なども人気を博しており、年間310万人が訪れています。茂木町はこれらの資源を活用して、定住、環境、観光などの7つの重点項目を掲げて取り組んでいます。

### ●町内を綺麗に、気持ち良く



当センターでは、親睦会のご協力もいただき、春と秋の年2回の奉仕作業を通して、町内の拠点施設の除草、草刈作業を実施しています。コロナ禍でも本の貸出が増えている「ふみの森もてぎ」は、新しい町の拠点施設として町民が誇りに思っている施設なので、会員の意気込みも強く、併せて、茂木駅や町有地の草刈作業も実施しています。

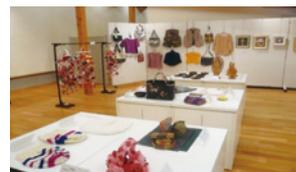


### ●シルバーの日や作品展でPR



〈逆川地区イベントの様子〉

10月10日(日)に地域巡回による普及啓発イベントを開催しました。いい里さかがわ館の「新米祭り」とタイアップした初めてのイベントで、女性会員の手芸品の販売や、刃物研ぎ、網戸張りの実演及び入会案内等を実施しました。また、例年、2月下旬に、ふみの森もてぎの町民ギャラリーをお借りして、会員の作品展を実施しています。今年18回目を計画していますので、ぜひ、ご来場ください。



### ●親睦会主催の「幻の未成線・長倉線」の散策&ハイキング

10月19日(火)に、未成線のハイキングを実施しました。会員など17名が参加し、随所でツアーガイドからの説明に耳を傾け、工事中止から80余年を経ても色褪せない貴重な鉄道遺構の魅力を感じながら、約3時間の「身近な歴史散策ハイキング」を楽しみました。



〈80年前にタイムスリップ!〉

### ●新たな就業機会を検討中

当センターでは、昨年度から「設立30周年記念事業」の計画を進めておりますが、その記念事業の一環として、「空き家管理事業」の実施に向け、就業開拓検討委員会で内容を検討しており、新たな就業の機会の確保と、会員確保を目指し、取り組んでいます。

# センター紹介

## 公益社団法人 足利市シルバー人材センター



〈あしかがフラワーパーク〉

足利市は栃木県南西部に位置し古くから織物の町として知られ、渡良瀬川が流れる自然豊かな街です。日本最古の総合大学「史跡足利学校」や国宝「鍔阿寺」をはじめとする多くの文化財を有し、大藤やイルミネーションで全国的に有名な「あしかがフラワーパーク」など見どころもいっぱいあります。今年には市立美術館にて市制100周年記念特別展として、足利ゆかりの戦国時代の刀剣の展示等を紹介します。



〈ワクチン接種会場の駐車場整理〉

当センターの業務は、庭木の剪定、除草作業及び公共施設の管理などを多く受託しています。また、平成23年度からは指定管理者の指定を市から受け、3カ所の老人福祉センターの管理も行っていきます。

今年度は、新型コロナウイルスの収束に少しでも力を貸すことができればとの思いから、ワクチン接種会場での来場者の検温、場内案内及び駐車場整理や、接種クーポン券の封入作業などを5月から8月まで受託しました。



〈ワクチン接種会場の検温〉

さらには、女性会員の活躍の場を広げるため、女性部会を令和2年12月に発足し、この部会は、「もっと女性が活躍できるように!」、「もっと輝くために!」、「もっとシルバー人材センターを盛り上げるために!」、「もっと自分と人の気持ちをよく知るために!」という願いを込めて「シルモア」と名付けました。最初の活動は、このコロナ禍で生まれた差別や偏見が少しでも無くなることを願いシトラスリボンを製作し、ワクチン接種会場において、誰でも自由に持ち帰れるようにしました。また、シトラスリボン運動を広めるため、シトラスリボン付きの布マスクを製作したところ、地元ケーブルテレビの取材を受けました。

この様な活動を通じて、当センター事業を多くの市民の方に知っていただき、会員の拡大や就業機会の確保等に努めています。



〈シトラスリボン〉



〈シトラスリボン製作〉



〈シトラスリボン付き布マスク製作〉



# あなたの街の会員紹介

やまぐち **山口** さとし **哲さん** 公益社団法人下野市シルバー人材センター



当センターで活躍されている山口哲さんをご紹介します。山口さんは生産管理のお仕事を47年間勤められた後、中国（蘇州）でのお仕事を経て、平成28年10月に下野市シルバー人材センターに入会されました。入会当初は施設管理の業務に就いていましたが、その後本人の希望もあり事務局で庭木剪定のお仕事を紹介させていただき、現在は市内北部地域を中心にして信頼できる仲間と一緒に一般家庭や公共施設での剪定作業に従事されています。

普段は剪定班の一員として活躍されている山口さんですが、休日は趣味の日曜大工に取り組みられています。大きいものはご自宅のベランダ屋根やテレビボード、剪定作業用トラックのあおり板から、小さいものは竹とんぼやボタン作りまで幅広く挑戦されています。コロナ禍で延期となっていますが、市内小学校での工芸普及活動にも取り組んでいます。

日曜大工の中でも、山口さんが特に熱心に取り組まれているのが鳥（シジュウカラ）の巣箱作りです。里山保全活動に興味を持ったことをきっかけに、インターネット上のYoutube動画で作り方を勉強して始められたそうです。出来上がった巣箱をご自宅の庭に取付けてシジュウカラの巣立ちを見守る一方で、知人からの制作依頼も受付けており、下野市で毎年行われる「産業祭」・「消費者まつり」にはシルバー会員として作品を展示、販売されています。

また、市内神社で行われる「古山かかし祭り」には北京五輪のメインスタジアム「鳥の巣」に着想を得て複数の巣箱を使ったかかしを出品し見事入賞されました。このお祭りではお孫さんとの共同制作にもチャレンジされています。

他にも、奥さんと一緒に旅行したり家庭菜園に取り組んだりと多方面に活動されている山口さん、今後もシルバー人材センターの会員として益々の活躍を期待したいと思います。



たけざわ **竹沢** かすこ **一子さん** 公益社団法人真岡市シルバー人材センター



真岡市シルバー人材センターで活躍されている竹沢一子さんを紹介します。竹沢さんは退職後、「このまま家にいても年取っちゃうから何かやろう！自分にも世の中に役に立つことがきっとある！」という思いの下、平成23年4月に入会されました。現在は当センターの理事も務めており、センター運営にも積極的にご参加いただいています。

シルバーでの仕事は芳賀地区エコステーションにて空き瓶の仕分け作業に就いています。就業歴が長いということもあり新人の指導や勤務先職員との連絡など会員内のまとめ役も担っているそうです。作業中は「〇〇さん大丈夫？水分補給してねー」と声をかけたり、休憩中は会員同士のおしゃべりが弾むように「そのマスクどこで買ったの？素敵だね！」などと話題を振ったり、常に周りを気にかけて一緒に仕事をする仲間の輪を取り持っているとのこと。お話をお聞きするなかでよく口にされていたのは「仕事は気分よくやらなきゃ！」の言葉。仕事だから楽しいことばかりではないけれど、少しでも気分よくやりたいし、周りにもやってほしいと考えているそうです。

このようにお仕事に一生懸命な竹沢さんですが、四つ竹踊りやフラダンスなど10年以上続けている趣味もお持ちです。どれも定年後に始めたそうですが、そのきっかけというのも地域の敬老会でお年寄りが何か楽しめるものをやってみたくて考えたからとのこと。

やり始めると地域の活動のみならず、市民会館での発表会に出られたり、とちぎテレビへも出演されたりと大活躍されています。現在はコロナ禍のためイベントがなく発表の場も無いそうですが、コロナ禍があければまたそういった場所もたくさん出てくると思いますので今後もぜひ頑張りたいです。

お仕事にも趣味にも一貫して人への思いやりを大事にされている竹沢さん。これからもその思いを胸に様々な場所で活躍していただきたいなと思います。



2015/9/16  
「わたの花趣味クラブ発表会」

さいとう くに お  
**齋藤 邦男さん**

公益社団法人塩谷町シルバー人材センター

当センターで活躍されている齋藤邦男さんをご紹介します。

齋藤さんは地元の塩野谷農業協同組合を退職された後、塩谷町シルバー人材センターの事務局長を8年間勤められ、その後会員となられて役員を勤められ5年間副理事長、理事長として塩谷町シルバー人材センターをけん引し、シルバー人材センターの目的である高齢者の社会参加、生きがいの充実、健康の保持増進、しいては地域社会の活性化に貢献されてきました。



〈自宅の庭づくりは趣味の一つでもあります〉



〈(株)アステモでの草刈作業  
仲間と共に元気に働く齋藤さん〉

そして現在も会員として、請け負った草刈り作業や剪定作業などに従事され第一線で活躍されています。また、後輩の指導等、塩谷町シルバー人材センターにとっても無くてはならない存在です。趣味であるゴルフや夫婦で楽しむグランドゴルフ、大好きな庭木も自分で手入れされ、心身ともに充実した生活を送っておられます。いつも元気な齋藤さん、塩谷町シルバー人材センターのリーダー的存在である齋藤さんには、これからもシルバー人材センターの会員として活躍していただきたいと思います。

**令和3年度活動報告**

公益社団法人 矢板市シルバー人材センター



〈作業前〉



〈作業中〉



〈作業後〉

当センターでは、平成元年度4月に長峰公園の奉仕作業を開始し、翌年度からは10月の市役所周辺の奉仕作業を加え、毎年2回、シルバー会員の有志による清掃ボランティア活動に取り組み続けています。4月の奉仕作業は、長峰公園の来園者が増える、つつじの開花時期に先立って行い、10月は市役所周辺が賑わう、花火大会や福祉まつり等の前に実施しています。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、4月の長峰公園奉仕作業は中止となりましたが、10月の市役所周辺奉仕作業は、小雨の降る中70人が参加し感染防止対策を取りながら、植木せん定や草刈・除草、落ち葉掃きなどに汗を流しました。

その他、独自事業として、お正月の「門松」と初盆の目印「高灯籠」(タカントーローとも言う)を作成・販売しています。竹製の高灯籠については、矢板市以北に多くみられる習慣で、お盆の折に見かけた方もいるのではないのでしょうか？これは、8月1日に釜の蓋が開き、ご先祖様が自宅に帰る灯台の役目を果たしていると言われてしています。

当センターも、皆様にとって欠かせない存在となるよう頑張っております。



〈高灯籠(タカントーロー)〉



〈門松〉

## 公益社団法人 鹿沼市シルバー人材センター



当センターでは、普及啓発促進月間の統一行動のひとつとして、公共施設での除草作業等の奉仕活動を実施してきました。しかし昨年、今年と新型コロナウイルス感染拡大のため、やむを得ず中止としました。各施設の皆様にも大変喜ばれており、センターのことを知っていただく良い機会であることから、来年こそは実施できればと願っています。

また、今年4月より鹿沼市から委託を受け、「広報紙等配送業務」がスタートしました。会員22名が毎月地域の自治会長宅へ広報紙等を届け、センターのPRにもなっています。依然、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実績が伸びない状況が続いていますが、V字回復を目指し、新規会員増強・新規就業開拓にセンター一丸となって頑張っています。

また、今年5月に日光市シルバー人材センターのご厚意により、日光市シルバー会員作品展に出展させていただきました。当センターからは「布ぞうり」や「クラフト製品」「シューキーパー」「キルト製品」を出展しました。今後も、他センターと合同でのイベント参加や、市内外を問わず積極的にPRをしていこうと、手芸グループ同、張り切っています。



## 公益社団法人 小山市シルバー人材センター

10月16日(土)、お世話になっている市民の皆様への感謝を込め、地区別クリーン作戦を実施しました。当日の朝は小雨模様で、実施が心配されましたが、直に雨もあがり作戦決行となりました。

当センターでは、市内を7地区に分け、地区毎に地区長、副地区長、地区委員を置き、それぞれが計画を立て、活動しています。地区別クリーン作戦も実施する場所・時間は各地区で決定します。早朝に集まり、クリーン作戦をして解散する地区もあれば、クリーン作戦前後に地区会議を実施する地区もありました。地区会議が行われた地区では担当理事からのセンターの近況報告の後、会員からセンターへの要望が出され、活発に意見交換が行われました。

今回のクリーン作戦では、全体で174名の参加を頂き、ごみは軽トラック2台分となりました。集まったごみは分別後、翌月曜日に運搬担当会員がボランティアで清掃センター、リサイクルセンターに持ち込みました。



普及啓発促進事業として、他にシルバーフェスタ(会員作品展)も計画していますが、今年度は12月に新型コロナに配慮しながら、縮小して開催する予定です。

## 栃木県シルバー人材センター女性の会

全国的に高齢者が元気で仕事を続けられる環境が整えられ、またそのことが求められています。その中でも特に期待されているのは、子育てが終わり家庭環境も落ち着き、家から自由に出て活動できるようになった女性たちの活躍です。

その女性たちのいきいきと光輝く活動をシルバー人材センターで拡大していくために、「栃木県シルバー人材センター女性の会」を創設しました。

この会を創設するにあたり、令和3年2月17日とちぎ健康の森会議室において県内のシルバー人材センターから女性会員の代表者が出席して、創設の趣旨と経緯に基づいて、代表者の選出、名称について話し合いました。

代表者には「シルバー人材センター全国女性代表者会議」に出席経験のある私（日光市シルバー人材センター副理事長）が選出されました。

名称は「栃木県シルバー人材センター女性の会」に決まりました。

その後、令和3年7月8日とちぎ健康の森会議室において第1回会議を開催し、今後の活動について意見の交換を行いました。

すでに女性の会の活動をはじめているシルバー人材センターもありましたが、どこの地域もコロナ禍のため思ったような活動ができず活動休止の状態でした。

地域によって様々な環境、考え方のなかで、いろいろと工夫をしながらの活動に耳を傾け、女性会員を増やすために何ができるか熱心に話し合いを行いました。

まずは、会議で数回しか会っていないメンバーの交流の場を設け、お互いが気軽に言葉をかけあうことができ、自分たちの活動の話ができる機会をつくる。それにはどうするか、展示会の開催、他のシルバー人材センターを見学する、開催を単独にするか共同にするか、県内全域の会員が参加しやすくするにはどうしたらよいか等、案を出し合いました。

また、次回以降は各地域のシルバー人材センターで会議を行うこととして第1回の会議を終了しました。

第2回の会議は10月7日に日光市シルバー人材センターで開催しました。

日光市シルバー人材センターでは女性会員の就業拡大の場として学童保育事業を行っています。同センターの232名の女性会員のうち、80名近くが学童保育の指導員として働いています。

会議当日は学童保育の班長会議が開催されておりその状況を視察、質疑応答を行いました。班長会議には女性、男性の両方の会員が出席しており、意見交換を行っていました。互いに相手を尊重しながら会議をすすめており、女性会員が輝いて見えました。



その後、日光杉並木街道を散策しました。日光市シルバー人材センターの独自事業として活動している会員の観光ガイドによる説明を聞きながらこもれびの中を歩き、解散となりました。

解散後、自由参加のお蕎麦屋さんでの昼食では参加者どうし、楽しくお話ししながらおいしくいただきました。

女性の持つ、細やかな気遣い、心遣いを発揮し、女性の会ならではの、それぞれの地域にあったイベントを実施して、話し合い、ともに楽しみながら女性会員の拡大に向けてこれからも元気で輝く会にしていけたら、と考えております。



〈挨拶する女性の会関根代表〉

## 令和3年度連合会活動状況

連合会では、会員が自らの経験や能力を活かし主体的に就業機会の獲得や仲間づくりに参加することで、高齢者として地域社会の活性化に貢献し生きがいをもって活動できるよう、令和3年度の重点事項として、①会員拡大②安全・適正就業の確保③就業機会の拡大④新型コロナウイルス感染症への対応を掲げ、積極的な事業展開を図っています。

### 会員拡大・普及啓発推進事業

会員の拡大事業では、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会への取組みに呼応した事業を推進すると共に、女性会員の拡大に伸び悩む中、県内センターの希望する役職員等で構成した「栃木県シルバー人材センター女性の会」を立上げるなど、特に女性会員の活躍推進と会員増に向けた取組みを積極的に行ってきました。

また、連合会では、シルバー事業の意義や活動内容を広く県民の方々に周知するため、特に10月のシルバー事業普及啓発促進月間に併せ、シルバー人材センターとその会員が地域の支え手として生き生きと活躍し、地域に密着したシルバー事業の魅力を発信していくなど、広報活動に努めました。

#### ●普及啓発促進活動の取組み

今年度も、会員の入会促進を狙うためポスターを作成し、県内25センターに配布を行いました。また、テレビ及びラジオの放送を実施し、より多くの県民の方にシルバー事業の魅力を発信し続けました。

その他、シルバー事業普及啓発用横断幕による広報活動として、広くシルバー事業の普及啓発を図るため、各市町のセンターに御協力いただきセンター事務所フェンスにおいて横断幕の掲出を行うなど掲出方法の工夫を行いました。

高齢者活躍人材確保育成事業で実施した広報活動の効果測定では、横断幕による周知広報はラジオと同等の効果が得られることが分かり、引き続き会員拡大に向けより効果のある取組みの検討や工夫した広報活動を実施し会員の入会促進、シルバー事業の普及に努めていきます。

#### ●「栃木県シルバー人材センター女性の会」の取組み

栃木県では、令和3年2月17日に「栃木県シルバー人材センター女性の会」を発足しました。「女性の会」は県内各センターの希望する女性役職員がメンバーとなり、会議では女性ならではの柔軟な発想で意見交換を実施したり、今後の活動の企画、立案を行っています。

まだまだ、始動したばかりですので幅広い活動ができておりませんが、就業以外の楽しみが「女性の会」で叶えられ、自らが生き生きと輝く活動を広げることでシルバー人材センターのイメージアップに繋がっていきたいと思います。



〈メンバー同士で活動状況の情報交流の様子〉

# 安全・適正就業推進事業

会員の就業は、「安全は全てに優先する」ことを基本とし、事故の撲滅及び就業の法令遵守の推進を図るため、連合会では安全パトロールにより会員の安全就業の確認、会員の就業形態の基本である「請負契約・委任契約」の適正性の確保として、定期指導により適正就業に係る関係書類の確認を実施しました。

## ●新型コロナウイルス感染症感染防止対策物品の配布

例年、安全就業物品の配布を実施しておりますが、今年度はそれに加え、連合会重点事項の新規事業でもある新型コロナウイルス感染症への対応として、消毒ディスペンサーやアクリルパーテーションなど、各センターの希望に応じた物品の配布を行いました。

今後も長期的な対応が見込まれますので、感染症に係る情報収集や周知徹底を図りつつ、役員、会員、職員の安全確保に努めていきます。



〈品出し作業の様子〉

## ●安全就業パトロールの実施

前年度の事故発生状況や安全就業パトロールの実施状況に基づき、5センターを対象に7月から9月にかけて就業環境や安全対策の確認をし、必要に応じて助言・指導を行うと共に、現場の生の声に耳を傾け今後の取組みの改善のため、センターの役職員と意見交換を実施しました。

# 就業開拓推進事業



〈那須塩原市シルバー人材センター〉



〈上三川町シルバー人材センター〉



〈那珂川町シルバー人材センター〉



〈下野市シルバー人材センター〉

就業開拓推進事業の一環として、例年普及啓発促進月間である10月にJR宇都宮駅ロータリーにて掲出していたシルバー人材センター周知用の横断幕を今年度は4センターに貸し出しし、掲出しました。

センターから良いPRとなったとのことをお声をいただき、今後も、シルバー人材センターをPRしていけるような取組みを進めて参ります。



〈仲山保健福祉部長に対し、県知事あて要望書をお渡ししました。〉

7月から8月にかけて、県や関係機関に対して要請活動を行いました。シルバー人材センター事業に対する支援やインボイス制度への御理解を併せてお願いいたしました。

# 令和3年度 高齢者活躍人材確保育成事業

栃木労働局からの受託事業として、①「周知・広報」、②「就業体験」、③「技能講習」の実施を通して、働くことに関心のある高齢者のシルバー人材センターへの入会促進を図るとともに、仕事への発注が期待できる企業の開拓を目的として取り組んでいます。

主な取組みを紹介します。

## ① 周知・広報

10月23日に那須町で開催した「60歳からのいきいきライフセミナー」には、37名が参加され、第一部でシルバー人材センター会員による生の体験談やセンターの活動紹介、第2部ではNPO法人エコロジーオンライン理事長の上岡裕様から「音楽が作るあなたの健康ライフ」と題した講演と手拍子リズムの実演があり、音楽を聞く事による健康維持の楽しいお話に参加者は笑顔で聞き入っていました。セミナーを通して参加者にはセンターの活動内容について理解を深めていただくことができました。

また、シニア女性のための「60歳からのいきいきライフセミナー」として、10月30日に宇都宮市、11月12日に足利市で開催し、第2部ではタレントのマッハ文朱様による「めざせ！元気で素敵なシルバーライフ」と題した講演を行い、自らの生い立ちのお話や食生活、気持ちの持ち方で若さを保つ秘訣の話をしていただき、会場は大いに盛り上がりました。2会場には合わせて103名の方が参加され、大変好評でありました。

〈10月23日・那須町スポーツセンター〉



上岡裕さんによる講演

参加者と手拍子リズム実演

〈10月30日・栃木県総合文化センター〉



シルバー人材センター会員体験談

〈11月12日・足利市織姫公民館〉



マッハ文朱さんによる講演

令和3年度もシルバー人材センターをより広く周知・広報するために、新聞、テレビ、ラジオ、広報誌、ラッピングバスにより幅広く広告を実施しています。

## ② 就業体験

センターでの就業に関心のある高齢者を対象にした就業現場の見学や体験については、12月末で13か所21名の方が参加されました。

11月17日に佐野市SCの独自事業である「裁縫小物作り」、栃木市SCの刃物研ぎ就業体験が行われ、参加者からは「体験できて有意義だった」「是非入会してみたい」と好評でした。



〈裁縫小物作り/佐野市〉



〈刃物研ぎ/栃木市〉

## ③ 技能講習

センターでの就業に必要な能力を身に付けてもらうための技能講習では、「学童保育支援」、「刈払機安全取扱」、「整枝・剪定」、「ハウスクリーニング」の4種類の講習を延べ14回実施し、12月末で200名の方が受講され、盛況でした。



〈整枝・剪定/那須烏山市〉



〈ハウスクリーニング/宇都宮市〉

## 講座・セミナーのお知らせ

### シニア人材活用のための「シルバー人材センター紹介と個別相談会」

**開催日時** 令和4年2月8日(火) 14:00~16:00

**会場** とちぎ健康の森 1階 大会議室 宇都宮市駒生町3337番地1

**対象** 団体、企業、個人事業主の方など、シルバー人材センター活用に関心がある方

**申込締切日** 令和4年1月24日(月)

**お問合せ** 栃木県シルバー人材センター連合会

**(お申し込み)** TEL: 028-627-1179 FAX: 028-627-2522

詳細案内・申し込みフォームは、連合会ホームページでご覧いただけます。お気軽にお申し込みください。

### 表紙写真に寄せて

#### 【①②壬生町おもちゃ博物館】

壬生町おもちゃ博物館は、大きな公園の中にある「遊べる」博物館です。

中世のお城をイメージした建物の中には、体をつかってのびのびと遊ぶことができる大型遊具「きんぐとくいーん」をはじめ、実際におもちゃを手にとって遊ぶことができるお部屋がたくさんあります。また「鉄道模型の部屋」は、幅広い年代に人気があり、自分のお気に入りの車両をコース上で走らせることができます。「おもはく」という愛称で親しまれている、壬生町を代表する観光施設です。

#### 【③おもちゃのまち駅】

< 駅名の由来 >

おもちゃ関連業者の集団誘致による新しい団地および工場にふさわしい「夢のある駅」ということで、全部ひらがなの「おもちゃのまち駅」になりました。

駅名にもなっている「おもちゃのまち」はそのまま町名にもなっており、一丁目から五丁目まであります。

おもちゃのまち駅(東武宇都宮線)は、インターネットサイトの「日本一かわいい! 駅名ランキング」で、1位に輝きました。

#### 【④おもちゃのまちバンダイミュージアム】

おもちゃのまちバンダイミュージアムは「日本のおもちゃ」「西欧を中心としたアンティークトイ」「エジソンの発明品」「ホビー(ガンダム)」という個性豊かな4つのテーマミュージアムで構成されており、こどもから大人まで楽しめる、おもちゃの博物館です。

大迫力の実物大ガンダム胸像がエントランスホールに展示されています。実物大ガンダムといえばお台場のガンダムが大きな話題になっていますが、実は一番最初に作られた実物大のガンダムは、このバンダイミュージアムの原寸大ガンダム1/1 RX-78でした。

### 企画広報委員会

● 松村 誠 委員長(栃木県シルバー人材センター連合会)

● 山中 英幸 委員(佐野市シルバー人材センター)

● 高津戸香里 委員(芳賀町シルバー人材センター)

● 豊田 沙織 委員(真岡市シルバー人材センター)

● 石川 朋彦 委員(壬生町シルバー人材センター)

● 手塚 里恵 委員(さくら市シルバー人材センター)

● 高瀬 直美 委員(那珂川町シルバー人材センター)

### 編集後記

昨年に引き続きコロナ禍の影響で様々な制限がある中、会員の皆様が人と人との繋がりを保ちながら生き生きと活動できるように各センターで工夫しながら取り組みを行っている様子が印象的でした。未だに感染防止対策が必要な状況ではありますが、一日も早く新型コロナウイルス感染症の拡大が終息し、皆様が安心して活動を行うことができる世の中になることを願うばかりです。

最後になりますが、企画広報委員並びに執筆していただいた皆様のおかげで、とちのは第42号を刊行することができました。御協力ありがとうございました。

### 公益財団法人 栃木県シルバー人材センター連合会

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森内

TEL: 028-627-1179 FAX: 028-627-2522 <https://www.tochigi-silver.jp/>